

12才の未来予想図

～夢の実現に向けたドリームマップを作ってみよう～

教科・領域 総合的な学習の時間 防府市立華浦小学校6年生

キャリア教育の観点

自分の適性について考えたり、将来の職業について努力すべき課題について調べたりすることで、自分の将来について考えるきっかけとなる活動です。

【キャリアプランニング能力】

単元について

この単元は、自分のことを知り、自分の良さを見つめ、自分の将来のことを考えていくことにより、自分や他者の生き方に関心を持ち、自分の夢の実現に向かって、今できることや何をすべきかを考えていく学習である。この単元では、自分の長所や短所、適性を見つめたり、様々な仕事について調べたりする中で自分自身のドリームマップを作成し、夢の実現に向けて努力すべきプロセスがあること、そして、夢に向かって一步一步努力することで誰でも夢を実現できる可能性があることに気づかせ、自分に自信をもって未来を切り拓いていこうとする児童を育てたいと考える。

また、ワークショップを取り入れることで、自分の思いや考えを友だちに知らせ共感したり共有したりする中で、自分の思いや考えがより明確に具体的な形になっていくようにしたい。

さらに、この単元の活動を通して得た学びや思いが中学校生活や職業選択への意欲にもつながると考える。

単元の目標

- 自分を見つめるとともに、将来のことや働くことについて考えを述べたり友だちの考えを聴いたりして、積極的に人と関わりをもつことができる。
- 自分の将来について関心を持ち、仕事の内容や苦勞、社会に果たす役割、その仕事に就くまでに必要なプロセスなどを知り、夢の実現に向けて意欲をもつことができる。
- 書籍やインターネットの活用、家族の考えやキャリア・アドバイザーの話などをもとに、将来のことや職業にかかわることなど自分の課題について進んで調べることができる。
- 調べたことや学んだことから将来の夢のために必要なことを理解し、自分を見つめ直すことができる。

単元計画 (全17時間)

| 時 | 児童の主な活動 | 評価方法 |
|---|--|-------------------------------|
| 1 | ○自分の好きなこと・好きなもの探しをする。 | ・ワークシート ・発表 |
| 2 | ○インターネットを利用して職業の適性(仕事相性チェック)などを考える。 | ・行動観察 ・ワークシート |
| 2 | ○キャリア・アドバイザーの話(仕事内容・思い・生き方・資格など)を聴く。 | ・ワークシート |
| 1 | ○「職業に就く(働く)」とは、どういうことかを考え、友だちと話し合う。 | ・行動観察 ・発表 |
| 4 | ○職業について調べる。 (書籍・インターネット・インタビュー) | ・行動観察 ・ポートフォリオ |
| 1 | ○「夢を実現するためのカード」を書く。 | ・ワークシート |
| 4 | ○調べたことや考えたこと、思ったことをもとに「ドリームマップ」を作成し、友だちと情報交換をする。 | ・行動観察 ・ポートフォリオ ・ドリームマップ |
| 1 | ○自分の将来の夢や希望、思いを発表する。 | ・発表 ・ワークシート |
| 1 | ○本単元の学習を振り返り、自分の変容やこれからの自分について考える。 | ・ワークシート |

評価規準

関心・意欲・態度

自分の将来について関心をもち、仕事の内容や仕事に就くまでに必要なプロセスなどを進んで調べたり、夢の実現に向けて努力しようとしていたりしている。

(行動・発表・ワークシート)

学び方

書籍やインターネット、家族やキャリア・アドバイザーの話を効果的に活用し、将来の夢や職業にかかわることなど自分の課題について進んで調べている。

(行動・ポートフォリオ)

見方・考え方

調べたことや学んだことを通して、将来の夢のために必要なこと、努力すべきことを理解し、自分を見つめ直すことができている。

(発表・ワークシート)

ドリームマップの例

《日本料理人》

- ・おいしい料理を作りたい。
行列の出来る店にしたい。
- ・三ツ星店にしたい。

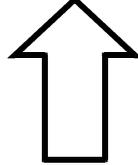
自分の店を開店



- ・自分の料理に満足せず
ずっと料理の工夫を続け
たい。
- ・師匠を店に招待して料理
を食べてもらい「うまい」
と言わせたい。

- ・その日のうちに家で必ずそ
の日教えてもらったことを
ノートにメモしたり作っ
てみたりする。

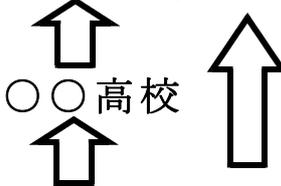
日本料理店で修行



- ・一流の料理人の弟子にな
って修行をし料理のう
をみがき、認められるよ
う頑張る。
- ・包丁などの道具を大切に
する。

- ・人気の店の料理を食べて、
その味を覚え作ってみる。
- ・家でも毎日料理を作る。
- ・専門学校に合格出来るよ
うに勉強を頑張る。

調理師専門学校



- ・調理師に必要な知識や技
術を学び、調理師の資格
を取る。

- ・色々な料理本を読み実際に
料理をいろいろ作る。

○ ○ 中学校



- ・職業体験で料理店に行き、
料理人の仕事を体験し料
理人のやりがいや喜び、
大変さや苦勞を知りたい。

○ ○ 小学校卒業

考察・課題

この単元は、児童が自分のことを見つめ直したり、進路について考えたりしながら、将来の夢や職業について思いを巡らせる活動であり、中学校入学を迎える児童にとって価値ある活動であると考えられる。

この単元において、キャリア・アドバイザーや家族に仕事のやり甲斐や大変さを聴くことで、児童は仕事の大切さや楽しさ、苦勞などを知るとともに働くことの尊さや家族への感謝の気持ちを改めてもつことができたと考えられる。また、将来の夢や仕事について調べドリームマップを作成し、自分の進路を具体的にそして視覚的に表現したことで、児童自身にこれからの進路や将来の夢をより現実的なものとして感じ取らせることができたと考えられる。さらに、この単元は、中学校での「職場体験」の活動に直接のつながりがあり、小・中学校の系統性も見据えた活動にもなっている。

その反面、将来の夢や仕事について考えられず、興味や関心のもてない児童がいるということ、そして、そうした児童に対していかに有効な支援をしていくかということが大きな課題である。ただ、今回の学習においては、そうした児童も仕事について調べを進める中で、仕事への興味が芽生えたり、自分なりに将来について考えたりすることができたようである。また、児童によって、情報を収集・選択する能力や活用しまとめることに差があるため、児童によっては、情報収集やドリームマップ作成時に特に支援が必要であると感じた。また、就職難といった社会の現状も、児童が将来の夢や職業について選択肢を狭めたり、思いをもてなかつたりという要因になっているのかもしれないと考える。